

令和7年11月14日

各位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
 代表者名 代表取締役社長兼CEO 此下 竜矢
 (コード2388 東証グロース市場)
 問合せ先 開示担当 小竹 康博
 (TEL 03 - 6225 - 2161)
 当社の親会社 昭和ホールディングス株式会社
 代表取締役社長兼最高経営責任者 此下 竜矢
 (コード番号 5103 スタンダード市場)

令和7年9月期連結業績の前年同期実績からの差異に関するお知らせ

当社は、業績予想の公表を差し控えさせていただいておりますが、令和7年9月期（令和6年10月1日～令和7年9月30日）の業績が、前年同期の実績値に比較して重要な差異を生じることとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 令和7年9月期 連結業績と前年同期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前年同期実績(A) (令和6年9月期)	860百万円	△14百万円	△895百万円	△942百万円	△22.21円
今回発表業績(B) (令和7年9月期)	816百万円	△91百万円	△297百万円	△226百万円	△5.34円
増減額(B-A)	△44百万円	△76百万円	598百万円	716百万円	—
増減率(%)	△5.2%	—	—	—	—

2. 差異の理由

売上高につきましては、コンテンツ事業の受注が堅調でありましたが、過去最高のロイヤリティ収入であった前年同期に比べ、ロイヤリティ収入が減少したことから44百万円減少し816百万円（対前年同期比5.2%減）となっております。

営業利益は売上高の減少に加え人件費等が増加したことから、76百万円悪化し△91百万円（前年同期は14百万円の営業損失）となっております。

経常利益については、持分法による投資損失の計上、前年同期の899百万円から当期は360百万円と大幅に減少したこと等により、598百万円改善し△297百万円（前年同期は△895百万円の経常損失）となっております。

上記の要因の結果、親会社株主に帰属する当期純利益は716百万円改善し△226百万円（前年同期は△942百万円の純損失）となっております。

以上